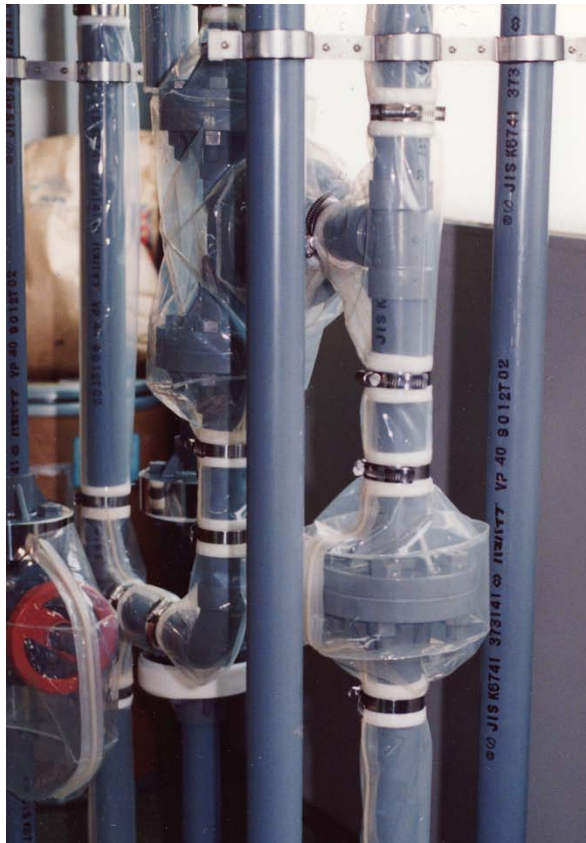


取扱説明書

グリーンカバー



施工前に必ずお読み下さい

東京日進ジャバラ株式会社

TEL:03-3252-2947

FAX:03-3256-7827

e-mail : info@green-tnj.co.jp

URL <http://www.green-tnj.co.jp>

レールファスナー用スライダーの使用要領

No. 4 スライダー

主に、大口径又は異形カバーに使用

No. 4 スライダーは、全てのカバーに添付されていません。多数のカバーにレールファスナー用開閉治具として使用して下さい。

- 1) スライダーの2つ穴が開いている側の、大きな穴に太いレールを、小さい穴に細いレールを差し込む。(スライダー穴とレールの位置関係が合わない時は、レールの逆端からスライダーを挿入して下さい。)



- 2) 差し込んだレールの先端が噛み合っていることを確認する。



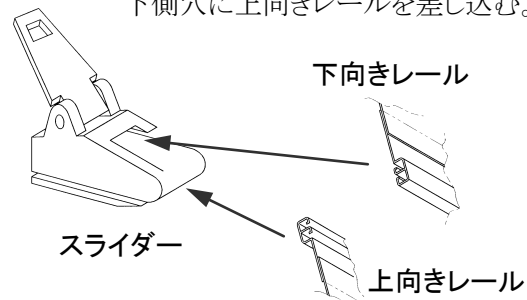
- 3) 噛み合っているレールの先端を指で摘み、もう一方の手で、スライダーをレールに沿って真っ直ぐに引き、レールの末端から引き抜く。



No. 3 スライダー

主に、小口径カバー用

スライダー穴が2ヶ所ある側の
下側穴に上向きレールを差し込む。



- 1) No. 4 スライダーとは形状が異なりますが、使用要領は同じです。スライダーの2つ穴が開いている側の、下側穴に上向きのレールを差し込み、上側穴に下向きのレールを差し込む。(スライダー穴とレールの位置関係が合わない時は、レールの逆端からスライダーを挿入して下さい。)



- 2) 差し込んだレールの先端が噛み合っていることを確認する。



- 3) スライダーをレールに沿って静かに真っ直ぐに引きレールが噛み合っていることを確認してレールの末端から引き抜く。



グリーンカバーの取扱い説明

グリーンカバーとは、配管内部流体が漏洩して起こる、大気汚染・土壌汚染・水質汚濁等を防ぐ事を目的としています。カバーにレールファスナーが付いている為、既設配管の接続部に対しても容易に取り付けられます。

Type“A”のグリーンカバーは、フッ素樹脂フィルムを加工して作られています。このフッ素樹脂フィルムは、硫酸・塩酸・苛性ソーダ・その他のアルカリ性薬品・溶剤（一部除く）・ガソリン・重油・軽油等、多くの薬品あるいは油脂に耐えられます。

これらグリーンカバーは、フランジ・エルボ・チーズ・バルブ・直管部等継手部分の、パッキン不良・振動に因るナットの緩み・腐食に因る破損等を起因とする、配管内部流体の漏洩が、大気に放出されたり、直接地面・河川に流出したりして、大気・土壌・水質汚染を起こす事を防ぎます。

手軽に施工できる経済的な配管保護カバーとして、多くの半導体組立工場や薬品工場で使用されています。

1. グリーンカバーの取扱いについて

- (a) グリーンカバーは薄いフィルム製なので、火気に近づけたり溶接の火花が掛からないようにして下さい。
- (b) グリーンカバーの上に重い物を置かないで下さい。また、鋭利な刃物等で引っ掛けないようにして下さい。

2. グリーンカバーの施工について

- (a) 配管のカバー取付け部は、錆・汚れ等のない様に清掃してから作業してください。
- (b) 雨天の下では取付け作業は行わないで下さい。また、カバー内の湿度が高いと施工後、水滴が発生し水分がカバー内に溜まる事がありますので注意して下さい。
- (c) 取付けは次項以下に示すカバー施工手順で進めて下さい。
- (d) カッター、はさみ、ドライバ等使用する場合、けが等をしないよう十分注意して下さい。

※ 取付けには下記の部材を使用しています。この部材はオプションとして用意しています。

- 1) シリコンスポンジパッキン ; 2mm厚 x 35mm巾 x 5M / 1本
- 2) テフロン粘着テープ ; 0.08mm厚 x 25mm巾 x 10M / 1巻き
- 3) シリコン接着剤 Super X ; 135ml チューブ入り / 1本
- 4) All SUS スクリューバンド ; 13mm巾 各種サイズ

シリコン接着剤は、早く硬化する（速乾性）Super XG No,777 も用意しております。

塗布量にも因りますが、Super X に比べ接着剤が乾くまでの時間は、半分程度です。

＝レールファスナー用スライダーは、グリーンカバーに添付してあります＝

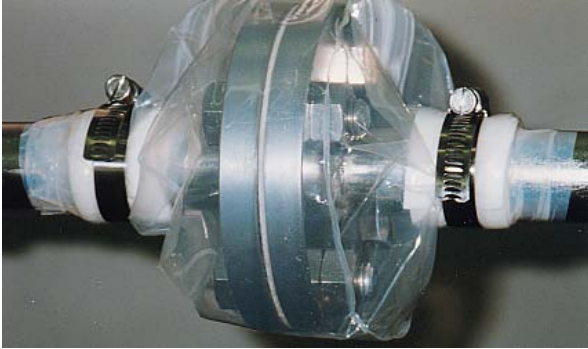
<ドレン抜きアダプターもオプションとして用意しています；詳細は別途記載>

カバー施工手順（これ以降グリーンカバーをGCで示します）

フランジカバーの施工手順

取付完了時

GC取付は、左右長さが均等になるようにし、本体側に多少の弛みをつけたほうが良い。
バンド取付位置はパッキン位置で決まるので1)のパッキン取付位置は慎重に決めて下さい。



- 1) 配管上のGC取付部分にシリコンスポンジパッキンを2～3巻きする。巻き始めを粘着テープで止めて置くと、巻き易い。



- 2) 少し引張りながら先に巻いたテープとずれないように注意して巻く。



- 3) 巻き終わりは、粘着テープで仮止める。



- 4) GCを被せてレールファスナーを閉める、スライダーは強く引張らないように。
(スライダー使用要領：参照)



- 5) レールファスナーが完全に噛み合っていることを確認後、レール噛み合わせ部全長に接着剤を均一に塗布し、接着剤が乾くまで約40分間以上放置する。



- 6) GC両端口元からレールファスナーや、カバー端部等が出ていたら口元が均一になるようにカットする。



- 7) 接着剤が乾燥した事を確認し、GC口元を摘んで折畳みパッキンに密着させて粘着テープを巻く。



- 8) テープ巻き始めは折畳んだ部分が開かないようにGCを押えて巻く。



- 9) テープは強く引張りながら口元から 30mm 程本体に近い方から巻き始め、GCの口元から、配管上にも2～3周、巻く。



- 10) 巻き付けたら、テープと配管、テープとGCの間に隙間がないように扱いて確実に密着させる。配管から侵入する雨水を防ぐのに効果的です。



- 11) バンドは配管に対して斜めに掛からない様に注意し、出来るだけ強く締める。
(SUSバンドの角等でけがをする恐れがあるので十分注意して作業して下さい。)



エルボカバーの施工手順

取付完了時

(SUSバンド未装着)

(SUSバンド装着)



施工手順はフランジカバーと同様ですが写真を参考に施工して下さい。

- 1) 配管上のGC取付部分にシリコンスポンジパッキンを2～3巻きする。



- 2) GCを被せてレールファスナーを閉める、スライダーは強く引張らないように。



- 3) レールファスナーが完全に噛み合っていることを確認し、レール噛み合わせ部全長に接着剤を均一に塗布し、接着剤が乾くまで約40分間以上放置する。



- 4) 接着剤が乾燥した事を確認し、GC口元を摘んで折畳みパッキンに密着させて粘着テープを巻く。



- 5) テープは強く引張りながら口元から 30mm 程本体に近い方から巻き始め、GCの口元から、配管上にも2～3周、巻く。



- 6) バンドは配管に対して斜めに掛からない様に注意し、出来るだけ強く締める。(SUSバンドの角等でけがをする恐れがあるので十分注意して作業して下さい。)



バルブカバーの施工手順

(ハンドル部をカバーの外側に出す場合)
取付完了時



- 1) ハンドル用の穴開け加工

1-1 : 最初にバルブハンドルのハウジング部の形状を測定し、カバーの長手方向中間部にレールファスナーから15mm程度はなれた部分にマジックでハウジングと同じ形状の印をつける。



1-2 : 印を付けた側のレールを印の中心に向かって切断する (片側レールのみ)。



1-3 : マジックでつけた印に添って丁寧にカットして穴を開ける。



- 2) フランジ、エルボカバー同様、シリコンパッキンを巻いた後、ハンドルのハウジング部に（1）で開けた穴を合わせてGCを被せ、レールファスナーを閉める。



- 3) 切込み箇所にはスライダーが来たら静かに切れている部分のレールをスライダーの穴に差し込み、引き続き最後まで閉めて、スライダーを引き抜く。



- 4) 特に、カットした部分のレールに隙間が無く、完全に噛み合っていることを確認し、レール噛み合わせ部全長に接着剤を均一に塗布し、接着剤が乾くまで約40分間以上放置する。
（写真：省略）

- 5) ハンドルのハウジング部の穴から雨水が浸入しない様にテフロン粘着テープでGCの穴とハウジングの隙間をシールします。



- 6) 以下はフランジ、エルボカバー同様、口元をテフロン粘着テープで巻き、バンド止めする。



（SUSバンドの角等でけがをする恐れがあるので**十分注意**して作業して下さい。）

ドレン抜きアダプターの取扱い説明

通常、**GC**にはドレン抜きが付いていませんが、内部流体が漏洩した場合、修理交換が困難な場所に取付けられている**GC**には、ドレン抜きアダプターの取付けをお勧めします。

ドレン抜きアダプターは、硬質PVC製で同質のナットと**GC**と同材質のパッキン2枚を1セットとして、納入いたします。アダプターにはホース差込み用とコック付きを用意していますので、ドレンの処理方法により選択してください。

ドレン抜きアダプターの**GC**への取付けは、**GC**の配管取付け姿勢（縦、横、その他）により、**GC**内に漏洩した流体が溜まると予想される箇所に、**GC**にハサミ又はカッターで穴を開けて行って下さい。＜穴開けは、**GC**本体の溶着部分に掛からないように、また、溶着部の近くに開けないようにして下さい。パッキンが溶着部の段差に掛かり、隙間ができシール性が悪くなりドレン抜き周囲から外部へ漏洩する恐れがあります。＞

ドレン抜きアダプターの施工手順

ホース差込みタイプドレン抜きアダプター
(アダプター本体、ナット、パッキン)



フランジ横配管取付け完了時



縦配管の場合、ドレン抜きアダプター取付け位置は、下側口元に近い位置に取付ける。

- 1) **GC**のドレン抜きを付ける位置に、ドレン抜きアダプターねじ部外径に合わせた穴（パッキンの内径と同じ大きさの穴）を開ける。



- 2) **GC**に開けた穴に、パッキンを1枚だけ付けたアダプターを内側から外に通す。



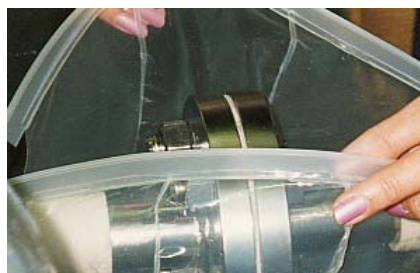
- 3) 外側からもう1枚のパッキンを入れる。



内側からアダプターのスリット部をコイン、ドライバー等で押え、ナットを締める。



5) フランジ、アクセサリ部に被せる。



4) アダプターを内側から押え、ホースを差し込む。

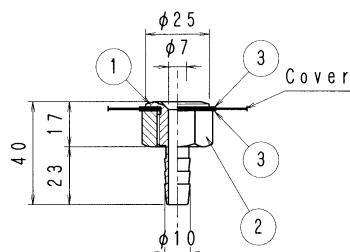


これ以降は、フランジ、エルボ、バルブの施工手順を参照し取付けてください。

ドレン抜きアダプター種類

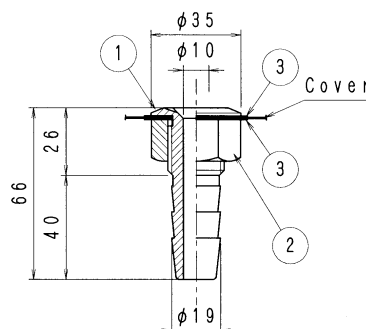
DH-8

(φ8ホース差込み用)



DH-18

(φ18ホース差込み用)



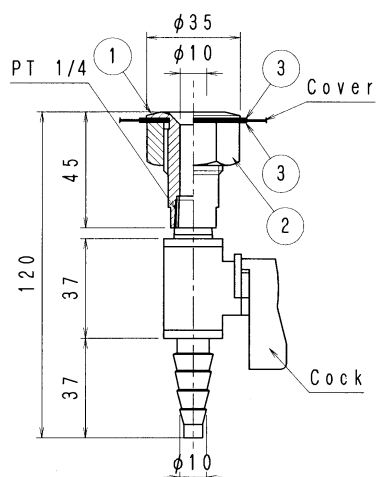
①: アダプター

②: ナット

③: パッキン

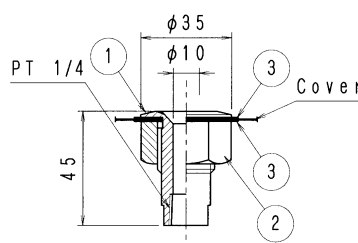
DL-H12

(コック付φ12ホース差込み用)



DL1/4

(コック取付け用Rc1/4ねじ付)



この「取扱説明書」は、取付方法の一例をご紹介しているものです。
ご案内の取付用部材（シリコンスポンジパッキン、テフロン粘着テープ、接着剤、バンド）をご使用
頂き施工手順通りに作業を行って頂いた場合でも、カバー口元、ジッパーレール噛み合わせ部の隙間
からの漏洩、雨水の侵入を完全に防げることを保証するものではありません。実際の取付箇所は、
様々な状況が有ると思われ、それぞれの状況に合った取付用部材、施工方法をご検討頂けます様
お願い申し上げます。